

ひかり

2021年3月号



日本聖公会 三光教会

第691号

〒142-0064 東京都品川区旗の台 6-22-24

Easter Day

電話 03(3781)2554

FAX 03(3781)2544

<http://nssk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

創立 救主降誕 1912年(大正元年)11月2日

どうか、わたしたちが罪に死に、イエス・キリストにあってあなたに生き、栄光のうちにみ子とともに支配することができるようにしてください。

(復活日 特稿)

伝統と伝統主義

司祭 ヨナ成 ソシ 成鍾 ソシジョン

早速ですが、皆さんが三光教会の一人であることにはどのような意味があるのでしょうか。いろいろな意味の中でも一つ言える事は、皆さんが100年を越える三光教会の歴史の一部になるということです。今現在、皆さんが居るから、100年の間に信仰の先輩たちが居たから、三光教会の歴史が築き上げられましたし、伝統も守られてきたわけです。そういった意味で、皆さん一人ひとりとは三光教会の歴史と伝統そのものだと言えます。そしてその伝統は、皆さんによって更新されつつ、後世へと受け継がれるでしょう。では現在の信徒である皆さんが三光教会の歴史と伝統を守り、さらに発展させるためには、何をどのようにすれば良いのでしょうか。

そのために先ず、伝統というもののについての理解を正しく持つこと、ことに伝統と伝統主義の違いについて見極める必要があります。伝統と言いますと、民族や社会な

どの集団の中で、思想・習慣・様式・技術などが歴史を通じて後世に伝えられていくものを指します。一方で伝統主義は、古くからの慣習や組織など過去にあった事柄を一つの絶対的な価値基準とし、絶えずそれに従おうとする人間の意識や行動様式のことを指します。それゆえ、あらゆる進歩的な考えや改革案に反対する傾向があります。伝統が死んだ人たちの生き残りだとして、伝統主義は生きていく人たちの死んだ行いだと言えます。

理解を手助けするために一つの例を挙げさせていただきます。金継ぎのことをご存知だと思いますが、それは金繕い、金直しとも呼ばれて、割れたり欠けたりした器を修復する日本の伝統的な技法のことです。漆を使って欠けた部分を繕い、金などの金属粉を蒔いて仕上げをすることで、継ぎ目がまるで新たな模様のようになり、世界に一つしかない特別な器に変わります。壊れてしまった器が元の形に修復されるのは実に嬉しいことですが、金継ぎの最も大きな魅力は、偶然のヒビや欠けが装飾されることによって、元の器とは

違った味わいが出てくることにあります。器として本来の形や目的が変わることはないけれども、また新しいイメージを持つ作品として再創造されるわけです。歴史を辿ってみますと、金継ぎは日本の伝統文化に元々あったものではなく、作品を大事にしたい心から生まれた技法として、後に一つの伝統になったものです。ただ単に古くからのやり方だけを重んじる伝統主義に止まってしまうのではなく、発想の転換によって生まれ、今は日本独特の美意識を現す伝統芸術として高く評価されている金継ぎは、今も更新されつつある伝統なのです。

教会の伝統と歴史というののも、同じ脈絡で理解することが求められます。歴史の中で伝えられた伝統は、ただ守り抜いただけのもではありません。人々によって更新され、今すぐ結果が出なかったとしても、それを受け継いだ後の人々によって新しい伝統になっていくのです。それについてキリストは「一人が種を蒔き、別の人が刈り入れる」(ヨハネ4:37)という諺を持って語られたのです。古くからの伝統をただ守るのではな

く、祈りで支えられ働きで具現される宣教活動を通して、さらなる新しい伝統を作っていく三光教会でありますように祈ります。

4月・5月の予定

◆ 4月	1 日(木)	聖木曜日
	2 日(金)	聖金曜日 (受苦日)
	3 日(土)	聖土曜日 (アーンスターヴイジェル)
	4 日(日)	復活日
	5 日(月)	復活後月曜日
	6 日(火)	復活後火曜日
	7 日(水)	復活後水曜日
	8 日(木)	復活後木曜日
	9 日(金)	復活後金曜日
	10 日(土)	復活後土曜日
	11 日(日)	復活節第2主日
	18 日(日)	復活節第3主日
	21 日(水)	主教会博士アンセルム
	23 日(金)	殉教者ジョージ
	25 日(日)	復活節第4主日
	26 日(月)	福音記者聖マルコ日
	28 日(日)	おとめシユナのカタリナ
	29 日(木)	大斎節第2主日
◆ 5月	1 日(土)	使徒聖ヒリポ・使徒聖ヤコブ日
	2 日(日)	復活節第5主日
	4 日(火)	モニカ
	9 日(日)	復活節第6主日
	10 日(月)	昇天前祈祷日
	11 日(火)	昇天前祈祷日
	12 日(水)	昇天前祈祷日
	13 日(木)	昇天日
	16 日(日)	復活節第7主日 (昇天後主日)
	17 日(月)	東京教区成立記念日
	23 日(日)	聖霊降臨日

成先生へ感謝を込めて

高田 智子

2019年6月に先生を教会にお迎えして、礼拝が行なわれしました。穏やかな笑顔に安心いたしました。お説教では、「皆さんはどのように考えていますか? 黙想してみてください。」私たちに問いかけ、静かに内容について考えることを求められて戸惑いました。

最初は、お説教を通して学びの時間を 与えていたのだかと思っておりましたので、急に頭と心が礼拝堂の中でざわわわして、黙想とは程遠いことになり、自分で慌てましたが、聖書のみ言葉を先生と一緒に考える時が楽しみになって参りました。

宣教委員をさせていただいておりましたので、香蘭女学校の行事に合わせてオープンチャーターを行っておりました。十二月に先生から香蘭女学校の先生方とのクリスマス交流会の提案を頂き、香蘭女学校のチャプレンとしても生徒たちの礼拝の司式もして頂いてい

たので、先生方にもお声がけの提案は、大変うれしかったです。宣教委員会が担当し、何人かの先生方と教会の方々との懇親会が実現いたしました。

2020年は、コロナ拡大で公祷が中止となりましたが、この時だからこそ教会が出来ることを呼びかけられ、「子ども食堂」「昭和大学病院医療従事者への感謝と励ましを伝えるお手紙・演奏のYouTube配信」が実現いたしました。行動力の速さにびっくりもいたしました。

宣教は信徒一人ひとりが積極的に行動することとおっしゃっていらつしやいました。コロナが収束した時には、信徒の過ごし方へのヒントを与えていただけたと思うとイースター礼拝で八王子に移動されるのは誠に残念です。

私たちに「輪」の働きという宿題を頂きましたので祈りとともに実現したいと思っております。お身体を大切にお過ごしください。ありがとうございました。

成先生へ感謝を込めて

黒川 正三

教会にとってもかつてない異常な状況の中、残念なことに成成鍾司祭がこのイースターを最後に八王子復活教会への移動をされることになりました。この一年、ほとんどの信徒が直接接する機会が極めて少なく、あまりに短い期間の当教会での成司祭のお働きに、その真価を知ることなく、また直接感謝をお伝えすることもできないままお送りすることにとても心痛みます。今回の成司祭の移動に心痛める一人として、また成司祭を通じて教会生活を大きく変えられた者として感謝を籠めてペンをとりまします。

一昨年の降臨節を前に、成司祭から降臨節中に一度は朝の礼拝に出てみませんかとお誘いが信徒に対してありました。何故かこの一言に惹かれるものを感じ、すぐ朝の教会へ行ってみました。まだ外は暗く静かな聖堂の中は寒かったけれど、サイドチャペルには明

かりが灯り、ストーブが点いて暖かでした。成司祭と荻原先生のほか信徒が数名いらしていました。その日の福音書、マタイの21章（エルサレム入城）が読まれ、黙想、そしてそれぞれが思い巡らしたことを分かち合いました。朝の静けさにとても気持ちを鎮められたひとときでした。黙想は、目と耳と心を神さまのみ言葉と御業に對して開く、私にとって初めての体験でした。

朝の礼拝をお捧げすることはこの日以来続けましたが、公祷休止にもなつて朝の礼拝も行なわれないことになると、朝の祈りだけ荻原先生と続け、土曜日には成司祭も加わつてともに祈りの時間を持つことができました。毎朝の日課朗読、黙想と分かち合いから得た恵みは計り知れませんが、さらに祈禱書の祈禱文の意味の深さも感じるようになりました。礼拝について考えるようになり、形ではなく、想いの深さを求めるようになりました。このようなことから、今教会に求められるものは何か、教会は何を大切にし、どう歩んでいくべきかを考えるときではないかと思うようになりました。一信徒と

して主体的に教会に関わっていくこと、教会を通じて地域や社会とも関わっていくことが自分にも求められていると思います。これらのことは成司祭との折々の対話を通じて私の意識の中に起こった変化です。

あらためて成成鍾司祭に感謝し、新たな任地でのお働きに神さまのお導きとみ恵みが豊かなこととお祈りいたします。

教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時から1時間程ご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。

はじめて教会にいらした方へ

礼拝様式に馴れない方は椅子にお掛けになったままで結構です。
●礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるものです。金額は自由です。
●わからない点は隣の席の者か案内係にお聞きください。

礼拝のご案内

■主日礼拝
午前 7:00 早祷・嘆願
午前 7:30 聖餐式
午前 9:00 ステパノ会
(日曜学校)礼拝
午前 10:30 聖餐式
午後 4:00 夕の礼拝

■平日礼拝
月曜日から土曜日までは、毎朝 6:30 の早祷に引き続いて聖餐式